

## 届けたい私の声

宮岡 聖良さん(高3)

選挙権が18歳以上に引き下げられることは、高校2年生のときに授業で勉強しました。投票には行こうと思っています。ニュースで、外国では始業時間を遅くすることで学習効率が上がることを知り、日本でも導入したらいいのではないかと思います。



坂口 優人さん(高3)

選挙のときは、親と一緒に投票所に行っていました。どの政党に投票したのか気になります。ツイッターで、面白い政治ニュースを見たり、気になる政治家のアカウントをフォローすることもあります。自衛権の問題など、国際的なことに興味もありますが、すべての学校にエアコンを設置してほしいです。



町内で、新たに有権者となる県立鳩山高等学校の18歳の皆さんに、政治に対して「届けたいこと」をお聞きしました。

選挙権年齢が18歳へ引き下げられた背景に、少子高齢化があります。未来の日本に生きていく若い世代に、現在そして未来の日本のあり方を決める政治に積極的に関与してもらいたい、という意図があるからです。

いま日本は、少子高齢化を迎え、高齢者の人口が増える一方で、若年者の人口が減っています。このため若年者の有権者数が少なく、その意見が国や地方の政治に反映されにくいこととなります。

### 少子高齢化社会ゆえに求められる若者の声

そこで、若い世代の意見がもつと政治に反映されるように選挙権年齢を引き下げ、より多くの若い人たちが選挙で投票できるようにしました。

### 選挙を通じて政治過程に参加する「有権者」へ

「有権者」になるということは、私たち国民や住民の代表として、国や地方の政治を行う議員や首長などを選ぶことです。

政治の大きな役割は、国民や地域の住民からどのように税金を集め、その税金をどの

ように使うか決めることだといえます。それは、様々な意見を調整し、まとめていくことでもあります。

### インターネット選挙運動でできること

18歳以上(有権者)になれば選挙運動ができます。SNSやブログなどの様々なインターネットツールを利用して、特定の候補者の当選を目的とした活動もできるようになります。

※候補者や政党等以外は電子メールを利用した選挙運動はできません。

#### 有権者(18歳以上)ができる選挙運動

- 友人・知人に投票や応援を頼む
- 電話を使って投票や応援を頼む
- 選挙運動の様子を動画サイトなどに投稿する
- 選挙運動メッセージをSNSなどで広める(リツイートなど)
- 選挙運動メッセージをネット上の掲示板やブログなどに書き込む

### 多世代間での意見交換

「18歳選挙」の導入は、単に選挙の場だけの話ではありません。地域だけの課題を解決する政策や、今後のまちの在り方を話し合うときに、もつと若い世代の声を取り入れていくこととするきっかけにするべきです。

若い世代の皆さんは、政治や地域にもっと目を向け、その他の世代は、もつと若い世代の意見を積極的に聞く姿勢を持つことが求められます。今回の制度改正をきっかけに、家族や地域で、多世代間での意見交換をより活発にしてみたいかがでしょうか。



# 若者の声を一票に 「18歳選挙」が始まります

選挙権年齢がこれまでの「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられる。改正公職選挙法が6月19日に施行されます。これにより、町内でもおよそ200人の18歳、19歳の皆さんが、選挙で投票できるようになります。

### 今年の春、引越された方へ 引越しても旧住所地 投票することができます

選挙で投票するためには、選挙権を有しているだけでなく、選挙人名簿に登録されていることが必要です。選挙人名簿への登録は住民登録がある市区町村で行われます。そのため、進学や就職などに伴い、実家を離れた場合などは、引越し先の市区町村への転入の届出が必要です。

ただし、法律が改正されたことによって新しく有権者となる18、19歳の方が、今年の春に引越した場合でも、旧住所地に3か月以上住んでいた場合、夏の参議院選挙では旧住所地で投票できます。

■問合せ：鳩山町選挙管理委員会(役場総務課内) ☎ 296-1214

### 未来を担い、生きる若い世代が 日本のあり方を決める場に 関与してもらうための制度改正です

「選挙」とは、私たちの意見を政治に反映させるために、私たちの代表を選ぶ仕組みです。その代表を選ぶことができる権利、つまり選挙で投票できる権利を「選挙権」といいます。一定の年齢(選挙権年齢)に達した国民に与えられる権利です。

この選挙権年齢を定めた公職選挙法が改正され、6月19日に施行されます。これにより、法律の施行日後に初めて公示される国政選挙(衆議院議員総選挙または参議院議員通常選挙)から18歳以上の方が有権者となり、投票することができます。

また、同様に国政選挙の公示日以降に告示される市区町村長選挙や都道府県知事などの地方選挙についても、18歳以上の方が投票できるようになります。

### 関連コラム

#### 鳩山町での投票率ってどの位なの?

各選挙の直近の投票率は右表のとおりとなっており、国政選挙が60%台、町議・町長選挙が50%台、県議・県知事選挙が30%台となっています。各選挙の投票率は決して高いとは言えず、投票率の向上が課題となっています。

#### 各選挙の直近の町内投票率

選挙種別	町内投票率
衆議院議員総選挙(平成26年12月14日)	62.36%
参議院議員通常選挙(平成25年7月21日)	61.84%
町議会議員一般選挙(平成23年4月24日)※	58.86%
町長選挙(平成24年7月8日)	55.92%
県議会議員一般選挙(平成27年4月12日)	39.25%
県知事選挙(平成27年8月9日)	35.05%

※平成27年4月26日執行の町議会議員一般選挙は、定数と候補者同数で無投票。